

1

西東京市商店街振興プランの前提



(1) 商業・商店街の現状と課題（西東京市広域商業診断報告書による）

商業環境の動向

- ・平成14年1月現在の西東京市の人口は18万1,456人で、この10年間で7.1%の伸びを示し、世帯数は、7万9,677世帯で、同19.4%増加している。今後も、団地建替え、再開発計画等の進捗により、中長期的にも人口増加・世帯数増加傾向が続くものと思われる。
- ・平成14年1月現在の高齢化率は、17.0%となっている。

商業の概要

- ・平成11年現在の西東京市の商業概要は、商店数1,516店、年間販売額152,897百万円、従業員数9,736人となっている。
- ・他の市町村と比較すると、1店舗あたりの年間販売額は、約10千万円であり、26市中23位と大きく順位を下げており、商店の零細性を伺わせる。
- ・人口当たりの商業集積の状況を見ると、人口1人当たりの年間販売額は市部（23区を除く）平均の102万円に比較して、85万円と市外への流出傾向が強いことがわかる。

図表 市別小売業の指標

	市	1店当たり年間販売額 (万円)	市	従業員1人 当たり年間 販売額 (万円)	市	売場面積当 たり年間 販売額 (万円)	市	人口1人当 たり年間 販売額 (万円)	市	人口1千人 当たり 商店数 (店)	市	人口1千人 当たり売場 面積 (㎡)
1	多摩市	22,031	武蔵野市	2,146	調布市	155	武蔵野市	227	武蔵野市	14.1	武蔵野市	1,798
2	町田市	19,066	立川市	2,116	国立市	147	立川市	165	福生市	9.8	立川市	1,289
3	立川市	17,228	町田市	2,113	三鷹市	143	町田市	131	立川市	9.6	町田市	1,012
4	武蔵野市	16,082	多摩市	2,024	小平市	141	羽村市	131	東大和市	9.0	多摩市	982
5	八王子市	15,339	昭島市	1,928	狛江市	141	多摩市	116	国立市	8.9	羽村市	936
6	羽村市	15,136	国分寺市	1,873	羽村市	140	東大和市	115	羽村市	8.6	福生市	933
7	東久留米市	13,982	八王子市	1,842	武蔵村山市	135	八王子市	111	調布市	8.5	東大和市	931
8	府中市	13,660	羽村市	1,838	日野市	133	昭島市	106	西東京市	8.4	あきる野市	930
9	国分寺市	12,940	東久留米市	1,827	昭島市	133	福生市	102	清瀬市	8.3	八王子市	894
10	昭島市	12,937	府中市	1,801	町田市	130	武蔵村山市	99	昭島市	8.2	昭島市	799
11	武蔵村山市	12,823	あきる野市	1,777	西東京市	128	国分寺市	95	青梅市	8.1	国分寺市	798
12	東大和市	12,758	武蔵村山市	1,733	立川市	128	府中市	95	あきる野市	8.0	府中市	755
13	小金井市	11,650	福生市	1,704	東久留米市	126	調布市	93	武蔵村山市	7.7	武蔵村山市	733
14	あきる野市	11,286	調布市	1,686	武蔵野市	126	国立市	91	国分寺市	7.4	青梅市	730
15	三鷹市	11,056	東大和市	1,681	府中市	125	あきる野市	91	八王子市	7.2	東久留米市	702
16	調布市	11,017	青梅市	1,626	八王子市	124	東久留米市	89	小平市	7.2	清瀬市	690
17	青梅市	10,751	三鷹市	1,603	東大和市	124	青梅市	87	府中市	6.9	西東京市	658
18	小平市	10,662	小金井市	1,583	東村山市	123	西東京市	85	町田市	6.9	小金井市	632
19	日野市	10,644	西東京市	1,570	国分寺市	120	小平市	77	東村山市	6.8	国立市	623
20	稲城市	10,622	東村山市	1,543	小金井市	119	小金井市	75	狛江市	6.8	調布市	602
21	福生市	10,381	小平市	1,531	青梅市	119	三鷹市	73	三鷹市	6.6	東村山市	545
22	国立市	10,244	国立市	1,521	多摩市	118	東村山市	67	小金井市	6.4	小平市	543
23	西東京市	10,086	狛江市	1,507	福生市	109	清瀬市	65	東久留米市	6.3	稲城市	516
24	東村山市	9,768	日野市	1,423	稲城市	100	日野市	59	日野市	5.6	三鷹市	510
25	狛江市	8,034	稲城市	1,371	あきる野市	98	狛江市	54	多摩市	5.3	日野市	444
26	清瀬市	7,881	清瀬市	1,265	清瀬市	95	稲城市	51	稲城市	4.8	狛江市	386
	市部	13,486	市部	1,803	市部	127	市部	102	市部	7.6	市部	807

資料：商業統計（平成11年）
国勢調査（平成12年）

消費者の動向

- ・業態別の利用度（D I指標）で見ると、大型商業施設と安売り専門チェーン、コンビニエンスストアの3業態が大きく利用度を高めている一方、唯一、一般商店だけが大きく利用度を減らしている。

ブロック別商業の現状と課題

本市を4つの地域に区分し、それぞれの立地環境、消費動向、経営者や商店街の動向を整理した結果、以下の課題が抽出された。

図表 ブロック別課題の整理

ブロック	課題（広域商業診断における提案）
北西ブロック	<ul style="list-style-type: none">・ひばりヶ丘駅北口周辺地域の整備 ～ふれあい・憩い・リフレッシュの場の創出～・六商協議会を通じた連携の強化・高齢化に対応した街づくり店づくり 商店街の対応 個店の対応
南西ブロック	<ul style="list-style-type: none">・田無駅北口周辺の回遊性向上 環境と景観を配慮した街づくり 駐輪場の増設 中心地機能の強化・ブロック内商店会の連携の強化・個店経営の独自性の発揮
北東ブロック	<ul style="list-style-type: none">・保谷駅南口地区再開発事業の推進 地権者の権利調整 基本コンセプトの設定とゾーニング 核店舗を含む出店者の調整 必要業種必要施設の設定 アクセス道路の整備 施設へのアプローチ 駅舎施設と駅広場の整備・商業者の連携・組織活動の強化 やる気のある店主の結束 ブロック内商店会の連携・個店経営の独自性の発揮
南東ブロック	<ul style="list-style-type: none">・生活実感型商業ゾーンの再生 構成員の啓蒙指導と意欲付け 個性的な店づくりでリフレッシュ こだわりの店、チャレンジショップの誘致・市民参加型イベントの推進 参加の輪を広げる取り組み 回数を増す取り組み メインテーマの設定 イベント体制固め